



2023 年度第 6 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 2024 年 1 月 21 日 (日) 13:00~16:00

開催場所 静岡県栄養士会事務局 および WEB

出席役員 ○出席 ×欠席 ○W WEB 出席

職域事業部	会長	副会長	副会長	学校		公衛		研究		地域		
氏名	新井	久保田	若林	松島	戸田	日置	塚本	三浦	篠原	池谷	森平	白石
出欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○W	○
職域事業部	地域		勤労		医療				福祉			
氏名	青島	栗原	森下	山崎	鈴木	渡邊美	渡邊潤	中村	太田	田森	杉山	柳澤
出欠	○	○W	○	○	○	○	○	○	○	○	○W	○
監事	関	梅木										
出欠	○W	○W										

開 会 定刻に至ったため、久保田副会長が出席理事を確認、出席者が過半数（うち WEB 参加 5 名）に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

なお、会場に来ることが出来ない理事は ZOOM（WEB 会議）システムを用いて、事務局と自宅または勤務先を繋ぎ、遠隔会議を行った。

ZOOM（WEB 会議）システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっている。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき新井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、福祉事業部の柳澤理事と学校健康教育事業部の戸田理事が指名された。

1 会長あいさつ

明けましておめでとうございます。本年も宜しく願い申し上げます。新年早々、未曾有の災害、事故に遭われた皆様には、心よりお見舞い、お悔やみ申し上げます。日本および静岡県栄養士会におきましても、迅速な対応が取られておりますこと、理事、DAT 関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。我々は過去の出来事から多くのことを学び、未来に備え、現在を歩んでいます。しかしながら、避けることができない出来事に対して、考えていないわけではありませんが、想定、想像することが十分ではなかったことを痛感させられます。with コロナにおける社会経済活動に対しても、非日常から日常に戻りつつありますが、DX や IoT の加速に伴い、社会が大きく変化し、我々の想像の域を超えたようにも感じます。栄養士、管理栄養士を取り巻く環境も同様です。我々の未来を創

造していくために、若い力や新たな息吹を吹き込んだ1年にしたいと思います。温故知新、一徳一心にて、この難局を乗り越えていきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

## 2 前回議事録の確認

- ・2023年度第5回理事会議事録  
全会一致で承認された

## 3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

### (1)新井会長

12月14日（木）	県医師会「国民医療を守るための静岡県総決起大会」	ホテルアソシア
12月18日（月）	地域包括ケア推進ネットワーク会議	グランディエール・ブクトーカイ
1月4日（木）	食べるから繋がる地域包括ケア推進業務連絡調整会議事前打合せ	WEB
1月7日（日）	能登半島地震に対する静岡県栄養士会災害対策本部設置	事務局
1月9日（火）	ふじのくに健康増進計画推進協議会【食育部会】事前打合せ	静岡県立大学
1月11日（木）	ふじのくに健康増進計画推進協議会【食育部会】	静岡市産学交流センター
1月17日（木）	三役会議	WEB
1月18日（木）	ふじのくに健康増進計画推進協議会【歯科部会】	レイアップ御幸町

### (2)久保田副会長

12月14日（木）	県医師会「国民医療を守るための静岡県総決起大会」	ホテルアソシア
12月25日（月）	栄養ケア・ステーション部会議	WEB
1月4日（木）	食べるから繋がる地域包括ケア推進業務連絡調整会議事前打合せ	WEB
1月14日（日）	2023年度全国栄養ケア・センターリーダー研修会	WEB
1月17日（水）	三役会議	WEB
1月18日（木）	第2回糖尿病歯周病医療連携委員会	県歯科医師会館

### (3)若林副会長

12月20日（水）	令和5年度第3回保険者協議会	グランディエール・ブクトーカイ
1月4日（木）	食べるから繋がる地域包括ケア推進業務連絡調整会議事前打合せ	WEB
1月11日（木）	令和5年度保険者協議会と作業部会についての意見交換	事務局
1月13日（土）	富士・富士宮地区研修会	富士市
1月17日（水）	三役会議	WEB
1月20日（土）	東ブロック研修会	日本大学

## 4 報告事項

### (1)静栄 DAT（中村理事）

12/16（土） 島田市避難生活支援研修

12/17（日） 日本栄養士会 JDA-DAT リーダー研修東海北陸ブロックカウンターパート方式（名古屋）

出席者：池谷理事・富士市のリーダー（石垣・村上・関・塩谷）中村の6名



渡邊理事は企画運営側として参加

1/13 (土) 令和6年能登半島地震派遣要請 往路

支援者：渡邊潤・内藤慶子・中村朱美 →理事会で詳細な報告

内藤さんと中村さん→金沢市（石川総合スポーツセンター）にて1.5次避難所の嚥下食の配膳を実施。DMATが段取りをつけるところから開始した。食事の提供は手探りの状態であり、DATの所属ではない現地のフリーランスの栄養士と共に活動を行った。現地のスタッフを休ませるために、限られた資源と電力、また、衛生上の観点から調理が禁止されていることから、朝昼晩とレトルト食品の提供に留まり、現地の食欲は減退傾向である。ミキサー食の提供を要望していた。

渡邊さん→DATの車を使って七尾市から志賀町・能登町へ支援物資の配送が主な仕事だった。避難所でのアセスメントはできず。七尾市の物資は豊富で、加賀屋の食品を使って調理をしたり、現地の方が明るくふるまい悲壮感は感じにくかった。

道路状態は悪く、雪道のため運転は困難。長期化が予想されるため、仕組みづくりや人員の確保が必要とされる。切れ目のない支援を今後も行っていく。

DIMSの課題もあり。今後、静岡県が被災した際を想定した活動も必要となるだろう。静岡県より、保健師・栄養士を派遣する予定。各々の活動内容を報告し共有していく必要がある。

1/14 (日) ~17日(水)被災地活動日・帰路

(2)総務部企画調整委員会（森下理事）

定時総会について

特別講演講師：フリーランス管理栄養士/惣菜管理士/パンシェルジュ/

離乳食・幼児食コーディネーター

菱沼未央（ヒシヌマ ミオ）様 内諾済。

2024年6月1日（土）予定時間13:00~14:00（60分間）：あざれあ会場参加

- ・情報発信のツールとしてのSNSの活用または管理栄養士・栄養士がSNSで情報発信する必要性
  - ・フリーランスの管理栄養士としての活動（きっかけや信念、今後の展望など）
- 今後、演題(サブタイトルも含め)詳細な打合せを行い、総会日程表(案)を作成予定。

(3)栄養ケア・ステーション部(杉山理事)

・栄養ケア・ステーション登録者数 122名（前理事会以降 1名増）

・フレイル予防相談窓口：前理事会（12/9）以降、問合せ電話2件

窓口開設時間外の電話、フレイル予防ではなく訪問栄養食事指導に関する内容

・12月25日（月）栄養ケア・ステーション部会議

栄養ケア・ステーションワーキンググループ会議の実施について決定（開催通知参照）

参加者：会長・総務部長・栄養CS支部担当・認定栄養CS・栄養CS理事・栄養CS事務局

・1月14日(日)13:00~16:20 全国栄養ケア・センターリーダー研修会(久保田副会長、杉山)

#### (4) 学術部（栄養士大会企画委員会）（戸田理事）

・賛助会員申し込み 1 月 7 日の時点で定数に達しました。（以下申込順）

- ① 大塚製薬株式会社
- ② 株式会社岩崎
- ③ 東洋羽毛東海販売株式会社
- ④ 信濃化学工業株式会社
- ⑤ ホリカフーズ株式会社
- ⑥ 株式会社クリニコ

#### (5) 研修部（渡邊美子理事）

・1/20(土)東ブロック研修会&交流会 14:00~16:00

日本大学国際関係学部三島駅北口校舎 N 301 教室 WEB (ZOOM)

「東部地区の食と健康」講師：静岡社会健康医学大学院大学 山本 精一郎 教授

参加人数 38 名（会場 24 名、web14 名、1 名欠席）

※会場に 1 名非会員参加

・2/17(土)中ブロック研修会&交流会 10:00~12:00

あざれあ 5 階 第 3 会議室

「思春期摂食障害研修会」講師：静岡県立こころの医療センター 黄 天寧 先生

参加申込人数 14 名

#### (6) 公益事業委員会（委託 1、2）（池谷理事）

委託事業進捗状況

【介護予防推進指導者育成事業】 3 会場終了

・研修会参加状況

沼津会場 8/30 参加者 34 名

静岡会場 9/14 参加者 24 名

浜松会場 11/24 参加者 27 名

・通いの場の状況

中部地区 6 件 東部地区 34 件

・ホームページ 準備中

・通いの場の事業説明など講師用 HP 準備中

・パンフレット：昨年作成したパンフレットをもとに、不足しているもの（単品の食材、例えば肉や魚ならどのくらい、野菜の量等）というもの作成予定  
篠原先生にご協力をいただく了承を得ている。

（案）主食編・肉編・魚編・野菜編・4つの項目

・A4 で作成予定

・料理の写真とレシピ（写真撮影）できれば動画を QR コードで入れる

・現状の資料に不足しているもの（例えば食事がたりない方に対する資料）

篠原先生・白石理事・池谷理事が原案を作成する。

- (内容) いろんな食事の組み合わせや、1回の日分量等
- ・スーパーの総菜やコンビニの食事の組み合わせ等
  - ・「組み合わせるとこれくらいのエネルギーがとれるよ」等と示す。

**【食べるから繋がる地域包括ケア推進業務】**

- ・10月24日担当者連絡会
- ・議事録送付済み
- ・2024年1月30日連絡調整会議

内容

- ①栄養ケア・ステーション周知用リーフレットについて
- ②医療・介護関係者及び栄養ケア・ステーションの連携における課題について（意見交換）
- ③モデル事業のご提案

**【元気を見つめる外食活用推進事業】**

- ・高校生の講座 10校実施済み
- ・報告書の作成について：欠席者の人数も記載が必要。参加人数は生徒の数のみ。
- ・参加者数は生徒〇人（欠席者〇人）と記載。2枚目の摘要の所に生徒、先生、スタッフ・助手の人数を明記するようにする。
  - \*検食は必要数だが、試食をする先生の数が増えることは考えて欲しいと指摘あり
- ・健康な食事の冊子配布状況 10月末4,500冊見込み
  - \*冊子については、基本配布する管理栄養士・栄養士が内容を説明して配布するもの。R4年度までは、コロナで配布数が減ったこと、7訂の在庫が余っていた為、積極的に配布するようアナウンスしていた。
  - 次年度からは、必要な場合のみに配布するようにする。
- ・高校生の講座でも、調理実習を受けていない方へも配布をしていたが、来年度は講座を受ける人のみの配布とする。

**【飲食店向け「健康な食事」事業】**

飲食店向け「健康な食事」について考える講座

- 9月7日 清水会場 19名
- 11月8日 富士会場 12名

**【しずおか健幸惣菜パートナー運営事務局】**

WEBセミナー 1月12日 (HPアップ済み)

参加者 WEB 67施設 116名

**【食品表示適正化・活用普及事業】**

- 10月13日 次年度について打ち合わせ
- 食品表示講習会
  - 11月29日 焼津会場 会場 22名 WEB 59名
  - 1月19日 掛川会場

**(7) 学校健康教育事業部(松島理事)**

11/25(土) 個別的な相談指導推進のための研修会 アンケート結果 (別紙)



→すぐに職場で活かせる内容で大変好評だったが、時間が足りなかった  
令和7年度に1日開催の研修ができるとうい

#### (8) 地域活動事業部 (池谷理事)

①12月19日 第2回地域活動事業部 運営会議

日本栄養士会に合わせ、静岡県栄養士会もフリーランス栄養関連企業等に変更  
令和6年度総会后より地域活動事業部と、勤労者支援事業部が合併し名称も変更する  
予算：2事業部合同で作成した

運営費 勤労者支援事業部と合同で実施のため昨年より予算を上げて作成。

来年度からは、勤労者支援と一本化し事業を進めていく。

事業計画

##### 【スキルアップ研修について】

・今後の研修内容についての意見をまとめた結果、今年度のような調理実習の要望が多かった。  
(決定事項)

- ・1日研修(当日の朝に準備の時間をとり、開始時間を遅くする等検討する。)
- ・年1回、調理実習を実施。
- ・内容は調理実習。厨房の経験がない方もいるので、「(仮題)嚥下調整食学会分類に基づいた調理実習」とする。
- ・会場は、中部からスタートし、東部または西部で順番に開催する(3年計画)
- ・講師：3年できる方又は、持ち回りで担当していただく。
- ・開催時期：8月～9月

【運営委員会】来年度は勤労者支援と一緒に

- ・運営委員会(理事+運営委員)2回・・・集合1回+Web1回
- ・理事打ち合わせ：集合1回 Web4回 研修会の打ち合わせ等

##### 【スキルアップ研修】

- ・講師料は30,000円/講師1人(1日で)

#### (9) 勤労者支援事業部(森下理事)

2023年度勤労者支援全国リーダー研修会・オンライン12月9日(土)

- ・2023年度事業執行状況報告について
- ・領域別発表
  - ・食事提供領域(給食・食品メーカー)
  - ・健康情報提供領域 第4期特定健診・特定保健指導2024～2029年  
アウトカムへの転換→結果を出していく。アウトカム評価+プロセス評価。ポピュレーションアプローチが大切。日栄では保健指導担当者研修会基本編・実践編を実施中
- ・国分葉子委員長  
組織が変革し、勤労者支援という名の研修会は最後となる。今後もネットワークを大事にしたい。  
栄養雑誌の充実はもちろん、具現化するためには政策を立案し要望していく。
- ・鈴木志保子副会長

フリーランス・栄養関連企業等事業推進委員会の設置について  
職域名は諮問会議にて決定されたため、変更なし。

職域統合について、来年度は都道府県の考え方によりすすめていただく。

小分類での活動・位置づけ、どの職域に所属するかは給与の支払い先でかまわない。職域は政策イメージの時のみ。今後、職域と分野について整備していく。分野が明確になる。研修の立案は分野で行っていく。次年度は政策に基づいた研修会としていく。

#### (10)医療事業部（鈴木理事）

- ・令和6年度診療報酬改定について

入院時食事療養費を、現在の1食あたり原則460円から490円とする方針。30円引き上げは患者自己負担とし、介護保険の食費自己負担約482円にそろえた。患者自己負担とする。

- ・食事療法学会について「Next Stage ～令和6年度同時報酬改定の最新動向と私たちの未来～」  
3月2日（土）ライブ配信 3月1日（金）～3月11日（月）オンデマンド配信

#### (11)福祉事業部（田森理事）

12/10（日） 栄養ケアマネジメント研修会③ WEB 参加7名

#### (12)その他

- ①令和5年度公衆衛生事業功労者（総務部顕彰委員会、事務局）

2023年12月15日付 健増第118号-2 大瀧 友恵 会員 受賞決定の通知があった。

### 5 協議事項

#### (1)2024年度予算編成について（久保田総務部長）

資料 2024年度予算案、2024年度予算とりまとめ

<2024年の取りまとめについて>

前回の理事会からの修正と全体を見た際の調整を行った。（支出で青マーカの部分が1月に調整した部分）。健康栄養知識普及事業の賃金25件を20件へ訂正し支出を抑えた。学術部県民フォーラム会場費用を増額し印刷製本を減額した。広報事業部の広告収入を今年度の実績と同額に変更。総務部運営会議が複数回必要だが会議費を見直し1回の対面を減らしWEBに替えて旅費の支出を減額した。静栄DATでは、賛助会員の展示2社分を収入として増額した。

<2024収支予算案>

会費の収入が伸び悩んでいるため会費見込みを増やさず、賛助会員2社分増加予定で収入を増額見込みである。賛助会員展示数を増加予定。寺子屋等で非会員を会員にする予定で収入の増加を図る。

支出：理事会等が対面になったため旅費や交通費などの会議費等を再確認し、総会を含めた支出は昨年度よりも増額した。郵便料金の値上げもあるが消耗品費を調整し昨年度と大きな変化はない。前年度予算ケア・ステーションの事業費は増加。県民フォーラムは40万増額し予算化した。代わりに県民栄養調査を事業から外した。DATにも力を入れるため予算を増額した。



全会一致で承認された。

※今回承認の予算案に基づき、公益法人変更認定申請の資料を作成

## (2) 2024 年度事業計画案の作成について (若林事業部長)

- ・ 2024 年度の研修会のあり方について対面・交流会を多くしていく方向であることや、それぞれの研修会での目標の参加者数を集客するためには日程を早めに決定し、周知する。
- ・ 3 月の理事会までに新年度の事業の一覧を大枠で作成する必要がある。特に新事業としての県民フォーラムについては開催時期を早めに設定し広報をしていく。

栄養士大会・県民フォーラム・DAT などの大きい研修会の日程検討は重視している。この研修会の日程調整後にその他イベントが重ならないように日程調整を行う。栄養士大会は 2 月で定着しているため、県民フォーラムは講師と会場の予定調整をしてもらい、その後に理事会の日程を決定していく。

新井会長からの提案

Google のアカウント登録ができているため、スケジュール調整はドライブに年間カレンダーを落としてスプレッドシートに各々が入力していくのはどうか。山崎理事から可能であるという事から各自が入力を行う方向で話を進める。

## (3) 広報部 (渡邊潤理事)

- ・ 賛助会員継続のお願いと広告募集等について (資料 7 ページ)

フッターの部分に制限数 (6 社) を超える応募数があった場合は、抽選を行い、フッターから漏れた場合はサイドメニューに移行してもらおう。広告場所の決定は先着順にはせず、公正に業社決定を行う。

## (4) 地区事業部 (塚本理事)

第 5 回理事会のあと、地区代表者に理事が運営委員になることについてどう思うか、メールを送ったところ、別添資料のような返事があった。

返信のあった全ての地区 (7 地区) で賛成という意見だった。

【協議したいこと】資料あり

- ・ 2024 年度から、理事に地区の運営委員 (オブザーバー) になっていただきたいが、どうか。

運営委員に理事が入ることで地区の活動を活性化するとともに、理事会の情報を地区に還元していくべきか。全地区に全理事がいるかどうかは不明である。地区の研修企画やイベント計画に理事が介入をすることでサポート体制を作りたい。

しかし、運営委員として携わるとどの業務も理事にゆだねられてしまう可能性があり業務が多くなってしまいますので、主で動くのは理事でなく地区の運営委員になっていただきたい (業務の明確化が必要)。理事はオブザーバーという立ち位置としたほうが良い。

運営委員→会場予約、講師との調整、案内文の作成。

理 事→案内文を HP へアップ、Zoom 操作、調整など。



※地区研修会においても引き継ぎ書が必要ではないかと思われる。

地区研修とブロック研修があることで負担感があるのであれば、地区研修を無くして、ブロック研修会だけでもいいのではないか。

→次年度の地区研修会の予算を確保してあるため、2024年は地区研修会を行う。そのうえで、反省をして地区研修会をどうするか検討をしていく。

理事はオブザーバーとして、交流会の実施も可能であり、研修会のアドバイスも行うとする。ただ、理事も役員改選があるため、オブザーバーとして円滑に進められるかどうかは課題である。

運営委員の周知連絡があまりできていないのでは。地区代表者だけでなく、運営委員に直接説明する場が必要ではないか。運営委員への連絡会を開催するために予算化も検討する。

塚本理事から理事会の内容は地区代表者にメールで送っているが、その後の連絡方法は見えていない。理想は、地区を活性化させることで静岡県全体を活性化したい。

## 6 承認事項（協議を経ず理事会で承認を受けたいもの）

### (1) 新入会員の承認について（久保田総務部長）

新入会員の申し込み無し。未納者の方が60名いるので、対策を練らなければいけない。未納者は滞納者となり退会の扱いにはならない。会員名簿がないため、どこに誰がいるかが分からない。個人情報保護しながらの運営や広報に課題を感じている。会員のニーズが不透明でもある。研修会だけで会員の魅力をひきつけるのには限界があるため、何か打開策を見つける必要がある。浜松商工会議所では、会員同士の交流会をメインにプラス勉強会を実施しており、その方法が魅力的ではないか。そして、そのような活動があるということを知ってもらうことが未納者の防止に繋がると思われる。

### (2) 静栄 DAT（中村理事）

1月1日 16:06～発生の能登半島地震の甚大な災害に対し、6日に静栄災害対策本部を設置、DiMSにて支援者募集を行った。1月13～17日に3名派遣。

以下の2点について承認いただきたい。

①派遣に関する費用は旅費、宿泊費（手配含む）、保険加入は日本栄養士会が負担。

日当を含む支援費用として支援日1日あたり5,000円を静岡県栄養士会より支給したい。

中村さん・渡邊さん・内藤さんは、職場にて出張扱いになり現地で活動を行った。

勤務先の規定によっては日当を受けとることは難しい。

磯村さんが1月24日から出勤予定。3名1組の予定だったが、人手不足の課題があるため1名で向かうことで日栄の承認を得られた。

磯村さん宛ての日当については湖西市の総務課に確認中である。

日当の受け取りについては、本人の意思を尊重してから支給することで承認済み。

②今回の支援にあたる静栄DATリーダー、スタッフに来年の総会で感謝状を授与したい。

感謝状を贈るということで承認。

現地派遣された方は、被災状況や活動内容について記録を残しておき情報共有を行うことが必要となる。静岡県・日本栄養士会・静岡県栄養士会の間で情報共有を行う。静岡県栄養士会の研修会等で集めた募金は日栄に支援金として送る。

### (3) 学術部（栄養士大会企画委員会）（戸田理事）

先着順から漏れてしまった賛助会員について（※対応があれば）

- ・1月7日時点で賛助会員申し込みが定員の6社に達し、申込受付終了（Googleform 停止）。

先着から漏れた賛助会員が発生した場合、第10回大会もしくは総会等で優先的に展示を行うよう配慮できないか。

フードデリ、コーゲツ、ナリコマ、他1社の計4社が先着から漏れていた。業社は決済を取るのに時間がかかってしまうため締め切り日に余裕があったほうが良い。10月くらいから栄養士大会の賛助会員の申し込み案内を開始し、業者さんがゆとりをもって計画できるようにする。公正を図るため展示の優先は行わない。

### (4) 栄養ケア・ステーション

- ・日栄作成のリーフレット「管理栄養士がいない診療所の皆様へ」（前理事会にて配付済）  
日栄から県栄に送付された100部が終了するため1,000部増刷承認された

### (5) 研修部

- ・2023年度研修会 予定一覧表 ※資料参照  
2月17日に中ブロック研修会が追加承認された

### (6) その他（新井会長より）

- ・総会で、能登半島地震の支援活動に行かれた方の感謝状贈呈式を行う。今後、総会のタイムスケジュール調整を行う。
- ・事務局員の物価高騰等に対応して賃金改定承認された

## 7 連絡事項

### (1) 会員への通知発送について

- ・1月20日頃 次期役員選挙告示の通知 ※2月5日必着
- ・2月中旬 次期役員選挙公示の通知選挙公示発送

### (2) 2023年度 会員専用ページのパスワードの件(広報部)



会費領収証記載の、2024年度静栄会員専用ページログインID、パスワード(2月送付開始)  
事務局が入金確認し、会員に領収書発送してから新しいパスワードで運用

## 8 確認事項

### (1) 行事日程の確認について

- ・1月中にGoogleドライブにアクセスし、動くかどうか確認が必要なため各自実施していく。  
議事録およびスケジュール表をドライブに上げるため、今後はドライブ内にて確認を行う
- ・3月23日13:30-17:30に労政会館で代謝の集いを実施。徳島大学の堤先生の講演を予定。
- ・浜松糖尿病の研修(2月3日)も代謝の集いと一緒にHPにアップを行う。

### (2) その他

- ・来年度事業計画の作成をお願いします。  
フォーマットを事務局から送りましたので1月31日(水)までに返信してください。  
認定変更申請で提出いたしますので、締切りを早めます。ㄨ切厳守をお願いします。

### (3) 第9回栄養士大会について

- ・運営担当をお願いしている方(三役、渡邊美理事、鈴木理事、太田理事、松島理事、戸田理事)の集合は、10:30にあざれあ大会議室へお願いします。
- ・その他参加の理事の方は13:10(受付開始)以降で大丈夫です。発表が終わり交流会になったら、グループワークの座長へのご協力をお願いします。(事前にグループの連絡を行いたいと思います)
- ・前回理事会で紹介をお願いした事業部(DAT、広報、研修・地区、栄養ケア・ステーション)は当日までにスライドの準備をお願いします。

新井会長より

事務局の負担が増えているため、各自必ず資料の目通しと確認を行い、締め切り期日を守ること。  
次回の理事会は、3月17日(日)、4月14日(日)の13:00から行う。  
理事会の資料(紙媒体)が必要な方は、各自印刷を行う。

本日のZOOM(WEB会議)システムを用いた理事会は、終始異状なく議題の審議が終了した。

以上

出席理事 新井 英一  
久保田 美保子  
若林 恭子  
戸田 知里  
日置 朝子  
塚本 ゆみ江

三浦 綾子  
篠原 啓子  
森下 知代  
山崎 靖晃  
池谷 広美  
森平 教子  
白石 明子  
青島 千恵  
栗原 理江  
鈴木 恭子  
渡邊 美子  
渡邊 潤  
中村 朱美  
太田 紘之  
田森 稔浩  
杉山 智子  
柳澤 利哉  
梅木 幹子  
関 明子

出席監事

議事録作成者 柳澤 利哉  
議事録作成者 戸田 知里

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

2024年1月21日  
公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 新井 英一 

副会長 久保田 美保子 

副会長 若林 恭子 

監事 梅木 幹子 

監事 関 明子 